

ロヒンギャ難民 3度目の街頭募金について

県立神崎高等学校ボランティア部

1 目 的 ユニセフ・ロヒンギャ難民 緊急募金 HP より

2017年の夏にミャンマーで激化した暴力から逃れるために、少数民族のロヒンギャの人々が隣国のバングラデシュに逃れている。バングラデシュのコックスバザール南部には、すでに地元住民の人口を上回る68万8,000人以上の難民が押し寄せ、過密するキャンプや仮設居住区で避難生活を送っている。この難民危機により子ども72万人を含む120万人もの人々が、命と安全を守るための緊急の人道支援を必要としているために実施しています。今回で本年度3回目になります。今回も異文化理解を学ぶ生徒たちが参加してくれました。

2 実施日 平成30年11月23日（金）9:00～11:00

3 場 所 大手前公園前

4 参加生徒

6名の生徒がこの活動に参加してくれました。

表1 活動に参加した生徒数

	男子	女子	計
3年	1名	4名	5名
2年		1名	1名
計	1名	5名	6名

当日、ボランティア部員が1名、異文化理解を学ぶ生徒が5名参加しました。

5 募金総額

表2 募金の内訳と募金総額

硬貨・紙幣	枚 数	金 額
1 円	7 枚	7 円
5 円	1 枚	5 円
1 0 円	7 枚	7 0 円
5 0 円	2 枚	1 0 0 円
1 0 0 円	1 1 枚	1, 1 0 0 円
5 0 0 円	0 枚	0 円
1, 0 0 0 円	1 枚	1, 0 0 0 円
合 計		2, 2 8 2 円

2時間の活動で集まった金額は2, 282円で全額ユニセフに寄付しました。

6 最後に

日本にもさまざまな問題がありますが、今世界には、学校に行きたくても行けない子どもたちが約6,100万人います。バングラデシュでは、ゴミ捨て場で働く子がいます。リサイクル業者が買い取ってくれそうなものを探して、集めています。とがったものもたくさん落ちていて危険ですが、くつを買うお金はありません。ニジェールでは、濁った水をくむ子どもたちがいます。パレスチナでは、一年前の戦争で家が壊されてしまったが、勉強して弁護士に目指そうとしている子どもがいます。



写真1 活動に参加した生徒



写真2 街頭募金活動の様子